

### 第3回 MSCT・ADCT デスク 参加報告

勤医協中央病院 船山和光

2017年1月22日に、愛知県一宮市で開かれた、MSCT・ADCT デスク（以下デスク）に参加しましたので、その内容を報告します。

デスクとは何か皆様ご存知でしょうか？

デスクというのは、簡単に言うと、各地域の東芝 CT ユーザー会が、東芝 CT に対する皆様のご意見や不満を吸い上げ、東芝 CT 開発者にぶつけ、回答をいただくという会議です。

こんなに使いづらいのに、とか、要望を言っているけど本当に東芝さんは動いてくれているの、などのユーザーの不満を少しでも解消することが、このデスクの目的の一つです。

もちろん全ての意見を取り上げることはできませんが、比較的要望の多い事案をセレクトして議論しています。

それでは、議論された内容を紹介します。

#### ●要望

vHP での切り替え回数を 2 回 (3Phase) にして欲しい。また、FLASH Scan もできるようにして欲しい。

#### ◎回答

対応できた。

ただし、バージョンに依存し、バージョンアップ不可の機種もあるようですので、この辺は東芝さんに確認してみてください。

#### ●要望

SEMAR の画像再構成時間を短縮して欲しい。

#### ◎回答

再構成の最適化と並列処理で短縮が実現できた。

Helical Scan で 2～4 倍、Volume Scan で 1.5 倍になったようです。

ただし、バージョンに依存し、バージョンアップ不可の機種もあるようですので、この辺は東芝さんに確認してみてください。

●要望

ポジショニングの簡便化。スキャン計画中にスキャノ移動させたい。

◎回答

V8 で可能となった。

●要望

Volume Scan での画質を改善して欲しい。(特に頭部)

◎回答

X 線エネルギーの最適化とディテクターの効率アップ、FIRST の改良で対応できた。

●要望

他社と比較して被ばくが多い。

◎回答

GENESIS で低減できた。

●要望

ヘッドレストを改良して欲しい。

固定が悪い。肩にあたって痛い。

◎回答

試作品を提示。

幅を 20mm 程狭くして固定を良くした。肩のあたりを緩和した。

→狭くすると術後の患者に使えないなど意見がありました。

今後も改良を進めるようです。

●要望

天板におけるヘッドレストが欲しい。

◎回答

試作品の提示

→個人的 (デコ山) には使ってみたいと思いました。

今後も改良を進めるようです。

●要望

ADCT で Volume Scan での曝射範囲を表示して欲しい。

◎回答

エリア投光器を開発し、対応した。

●要望

寝台を保護するカバーが欲しい。

◎回答

製品としてすでに販売されている。

→今後、標準装備品として検討している。

●要望

小児固定具が欲しい。

◎回答

現在、形状を検討中。

その他、フロアから出された要望、意見も紹介します。

- ・ vHP で、SEMAR を使いたい。
- ・ vHP の心電同期を広い範囲で使いたい。
- ・ vHP で使用できない関数がある。
- ・ 心電計を装置直結にして欲しい。
- ・ 心電同期撮影で、ER など着いてくる心電モニターをそのまま使いたい。
- ・ 装置に記録される心電図の精度が悪い。
- ・ 撮影直前の心電図も残して欲しい。
- ・ 心電同期撮影前の心拍取得をスキップできる様にして欲しい。
- ・ GENESIS で PRIME より造影剤の CT 値が低い。
- ・ FIRST で頸動脈ステントにアンダーシュート様アーチファクトが出る。

などが挙げられました。

また、東芝さんから、ハイブリッドキーボードの使い勝手について

て意見を求められました。

ハイブリッドキーボードって何？と思った方もいらっしゃるのではないのでしょうか？私もその一人です。

ハイブリッドキーボードとは、皆様が毎日使っている、あれです。東芝 CT についているキーボードの事です。つまり、毎日使っていて、どう？ってことのようにです。

東芝さんがよく聞く意見や、フロアから出た、主な意見は次の通りです。

- ・サイズが大きい
- ・普通のキーボードと、「SHIFT」と「Ctrl」の位置が逆だ。
- ・使わない謎のボタンがある。
- ・ジョグダイヤルは使わない。
- ・いや、使っている。
- ・ホームボタンを付けて欲しい。
- ・慣れちゃったので、何も気にならない。
- ・キーボードより変えて欲しい所がある。

などなどが挙げられました。

とりあえず、情報を集めましょうということになりました。

以上が主な内容です。

皆様も東芝 CT の開発者様に意見があるぞ、って時は、北海道 CT 遠友 ser 会ホームページの“お問い合わせ”からアクセスして、貴重なご意見を上げていただけると良いと思います。

よろしく願いいたします。